

●三原市歴史民俗資料館で展示● のぞきからくり



アヤメちゃん、三原には日本に2台しか残っていないといわれている珍しい物があるのを知っているかな？



日本に2台しかない珍しい物？それは何ですか？
「のぞきからくり」という物だよ。



学校の課外授業で歴史民俗資料館に行ったときに見たことがあります。だけど、詳しくは知らないな。どんな物ですか？



大型の紙芝居と考えたらいいんだけど、物語の説明に合わせて絵が入れ替わっていくんだよ。箱に入った

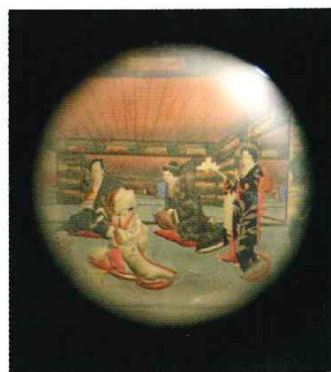
平面の絵を、箱の前面についているのぞき穴のレンズで見ると立体的に見える仕掛けなんだ。明治から大正時代にかけて、縁日やお祭りでは人気の娯楽だったんだよ。



▲のぞき穴から観賞する



平面の絵が立体的に見えるなんて不思議ですね。



▲レンズをのぞくと平面の絵が立体的に見える



無料で見られたの？

料金は、戦後のころで10円、現在の価値では200円ぐらいだったそうだよ。



面白そうですね。今も見られるのですか？



映画の流行に伴い、昭和55年の公演が最後になったんだよ。そういえば、当時三原には映画館が6軒もあったんだ。本町の松竹座、太



平館、港町の文映、東映、帝劇、大映だよ。残念ながら今はすべてなくなってしまうているよ。



昔の三原では、映画ものぞきからくりも楽しめたのですね。



歴史民俗資料館には、大正時代に制作されたのぞきからくりの実物と物語の説明が録音されたテープも展示されているんだ。今では、実物が残っているのは、三原市と新潟市だけなんだよ。

さっそくもう一度友達と見に行きます。